



一樂々奔陶里選

何階四季遊

卷中 梧桐園里乙

春風のいとはれゆくちのささけの
白襟を繕て今もあはれあはれと梅に
文柳子更のこもりてあはれあはれと
とくさあけの南あはれとあはれと
とくさあけの南あはれとあはれと
とくさあけの南あはれとあはれと
とくさあけの南あはれとあはれと
とくさあけの南あはれとあはれと
とくさあけの南あはれとあはれと

あつりしあつりし書く〜五千餘のしるし
 ちかしのあつりしあつりしあつりし
 者さあつりしあつりしあつりしあつりし
 或るあつりしあつりしあつりしあつりし
 不審此あつりしあつりしあつりしあつりし
 ちかしのあつりしあつりしあつりしあつりし
 選あつりしあつりしあつりしあつりし

口月星夜のあつりしあつりしあつりし
 其あつりしあつりしあつりしあつりし
 まあつりしあつりしあつりしあつりし
 ちあつりしあつりしあつりしあつりし
 ちあつりしあつりしあつりしあつりし
 ああつりしあつりしあつりしあつりし
 此あつりしあつりしあつりしあつりし

日正米登

漏るぬるりのつむくさおが

清水

素逸

田堀取虹の物ぬき高り

全

里全

麻中てみまい本竹の毛下

伊尾

良平

取もあれて茶葉のく口の

高有知

知常

水垢の乾おてきー水

脈

北方

茶静

去る舟り世路や五尺の男 松 流 左
 行りもなきお前のあしころも 井 太朗
 山や秋のしりりせさえう 全 龍 倒
 晴ふれいさよ二口のあまう 北 方 兔 隆
 志くもやる横宿の夕うり 伊 尾 逸 功
 さしおきておちる里はあま 小 方 葵 汀
 多仙も家のあまうりけり 法 家 爛 石
 風のうらみれ小村 伊 尾 寸 松

何あそちくをんやう月の 非 楚 荏
 おくいさう牡丹の繁れ 清 水 素 逸
 棟寺訪少や日月の花う 玉 流 左
 お柔う寝所のう所あま 手 知 常
 知しあまのあま月せ 東 野 里 乙
 戸をぬいてやう火を焚 表 山 有 慶
 笑くしてあまのあま月夜 小 古 栄
 ちしあまのあまのあま 馬 流 左

岩うりの歌みまも〜うれりり 表ア 香草
 原中ねあ〜うあて月比友 十六 琴呂
 崎原のう〜う清り根を〜 法外 全
 鯨の言比甲〜一〜本言歌心 五節 花洲
 志とく〜ああ〜のい〜を〜 伊尾 丙子
 名月とあ〜い〜小田川男う神 五節 乙
 涼沼和輪州〜の言比 法水 全
 夕月や葉比あ〜い〜一〜 井戸 楚雀

鐘撞〜〜さ〜〜を〜 伊尾 逸功
 夕仙のあ〜い〜あ〜 全 良平

凡生書

梅咲て月の多に也と羨りりり 竹之鼻 魯行

棠島庵ハちのせうそくもけを イニ 虚白

秋風や勢回と羨るを蛭け 清水 素逸

露く夜や移り北人の山ろく 全 里全

藤のやみ北方人の家とさ 北方 得之

人のもぬ十の葉は能く 全 茶節

うさくさよのや飄と米み水 全 得之

まうくくふふとさな夕 全 兔隆

石垣や葉とさなは菊はも 佳水 里全

赤セの六のふとく月乃暈 竹之鼻 魯行

庭よりとあさくあや山家 北方 得之

お島とせむふとくさう 全 青志

まふとさ イニ 竹庭

風より心よりよりの子彦節より イヒ 丙子
月影をさめぬ水のら 志名 う那 志名 里乙
秋風の老をさめぬ 志名 水 志名 川 昔有
り イヒ 秋風 志名 細代 志名 子 志名 花火の音 イヒ 丙子
等 志名 七 志名 花火 志名 山 志名 山 志名 花火 志名 山
梅 志名 花火 志名 山 志名 花火 志名 山 志名 花火 志名 山
節 志名 子 志名 山 志名 花火 志名 山 志名 花火 志名 山
聖の梅也月 志名 花火 志名 山 志名 花火 志名 山
流 志名 左

は 志名 山 志名 花火 志名 山 志名 花火 志名 山
梅 志名 花火 志名 山 志名 花火 志名 山
る 志名 ち 志名 う 志名 た 志名 り 志名 と 志名 梅 志名 花火 志名 山
り 志名 船 志名 の 志名 跡 志名 八 志名 花火 志名 山 志名 花火 志名 山
咲 志名 満 志名 ち 志名 花 志名 子 志名 月 志名 花 志名 火 志名 山
花 志名 井 志名 の 志名 地 志名 子 志名 花 志名 子 志名 花 志名 子
さ 志名 花 志名 子 志名 人 志名 花 志名 子 志名 花 志名 子
松 志名 乃 志名 風 志名 吹 志名 花 志名 子 志名 花 志名 子
之 志名 月 志名 魯 志名 行

やまをくひ枝ハきりり 紙 月 里 全
麦苺の熟トくくわ神しくれ 映 春
雪のゆき水もふぬきささき 太 朗
り 船ト浦まの家の種火に 常
半 吼る里トいし秋此席のみ 無 一
秋のをもむふあまをさうけり 里 乙
蝶くさきあしぐさるや 橋 本 流 左
新 冥く梅トくさるあまを 者 孝

味も秋物きりり 良 平
山寺や隣より言く 鹿 常
雪のこもれトくくわ 兔 舟
あまをきりり 十 五
子もあまのこもれトくくわ 流 左
月もあまのこもれトくくわ 里 全
り 秋もあまのこもれトくくわ 就 剛
梅 白くあまのこもれトくくわ 者 孝

新白ゆきさびしきの新てき
得之
眼うつらやせし心九りの雲はさ
全 兔 隆
月と蒼く松多れり山さぬ
壯宇
あつめの岡やふさの波しる
太朗

壘之巻

きよりやたしくるに伊吹山
楚蒼
よくまのときもいさる本るれ高
切通 呂 通
里くはなごころうり山しと地
イヒ 柳 汀
お登のあそぬ早や新乃風
赤ア 吾 夢
浪中入月き舞りり野のみす
思世 流 左

鹿の事しつと火とる山あり イヒ 竹庭
 ちりちりしつとみまふれあり 全 良平
 樹くまへし月と訪る庵 吉野 乙
 日五中の下風し 五野 流左
 ちりちりしつと海系と出ん 津戸 洲
 ちりちりしつと山吹 法家 羊石
 ちりちりしつと山吹の極 山方 茶部
 ちりちりしつと 法家 一柳

蝉の声 改鼻 晒茶
 船とちり 竹ノ鼻 魯行
 梅一本 五野 流左
 ちりちりしつと 波須 義水
 ちりちりしつと 法家 欄石
 ちりちりしつと 小方 得之
 ちりちりしつと 津戸 晒茶
 ちりちりしつと 津戸 楚雀

藤原のいふもよむの美らけりイロ良年
 山道のふもよむもよむの美らけりまぢ里乙
 山道のふもよむもよむの美らけり目玉道
 批行も風もよむ塘い那い急隆
 梅の花もよむもよむの夜明け上宇曲
 梅の花もよむもよむの夜明け水里全
 梅の花もよむもよむの夜明け車只繁
 茶もよむもよむの夜明け小茶静

梅の花もよむもよむの夜明けまぢ里乙
 梅の花もよむもよむの夜明け井楚花
 梅の花もよむもよむの夜明けまぢ里乙
 梅の花もよむもよむの夜明け小茶静
 梅の花もよむもよむの夜明け水里全
 梅の花もよむもよむの夜明け上宇曲
 梅の花もよむもよむの夜明け目玉道
 梅の花もよむもよむの夜明けまぢ里乙
 梅の花もよむもよむの夜明けイロ良年

牡丹松花下の来るりくのみわん松
さうさし松学松ひ松の松花松
実松き松し松月松々松茶松の松白松ひ松も松
り松秋松花松み松葉松掃松出松ん松花松ら松ひ松も松
お松鳥松の松や松々松湖松ぬ松あ松ら松ゆ松も松
八月松ハ松山松早松さ松ー松藤松の松や松
花松を松築松く松あ松ハ松吹松た松も松志松一松種松
何松あ松ら松ち松ら松く松松松の松も松あ松す松る松松松松松
白石 和川 呂通 一声 義水 常

幸松得松り松と松松松の松時松の松あ松り松し松 晒茶
世松の松花松い松ら松ら松と松し松き松此松花松を松自得
推松と松は松心松明松き松今松と松そ松や松ら松の松門松 珍松呂
一松ー松の松地松夕松口松此松花松と松あ松ら松ゆ松り松 者松茶
そ松ら松や松糸松の松向松ひ松と松湖松の松色松 太朗
茶松あ松れ松と松海松あ松る松君松々松代松ち松ら松り松 里乙
ま松の松あ松ら松茶松を松築松て松み松ら松ゆ松り松 魯行
舟松の松あ松の松子松と松は松ら松ら松ぬ松あ松ら松に松 全

あのをあかしるあらしき庵にイヒ良平
口毛のまじりし雨のまじりす松全
冥ちの雲あまき花日月あぶ要保松下
朝口の照し干魚のまじりし雲あま乙
咲をもしれおとしふせよひらふ全
小海を干す家おあまを菊と名イヒ良平
ふ聲を疎の花よ集之のをも東野只集
片もせきと挑竹消をもあめ尺一声

あしくもさかたさあありオウ危墜
垣はしと薫あましりさ良の京全得之
ちしきしきしきしおのまほ海あま本洲
伝しきすしきしきしき神此倒
あしとと二のまじりしり佳里全
和風や庵あかりし屋あま舟ヶ島行
翼乃院輝もほしきしりオウ得之
山越えあらしりし雲あま全

雛鳥 十六 知此春の月 十六 彦
 時 十六 也 十六 一 十六 一 十六 也 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 前 十六 の 十六 秋 十六 の 十六 水 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 乃 十六 也 十六 也 十六 也 十六 也 十六 也 十六 也 十六 也 十六 也 十六 也
 声 十六 火 十六 華 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 刑 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 海 十六 士 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 得 十六 之 十六

梅 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 松 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 竹 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 行 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 菽 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 多 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 か 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 さ 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一 十六 一
 乙 十六

糸浪の糸なみしなみししのの口くち糸いとなみなみ糸いと洲しゅう
 笑わら満みててくくららいいちちららぬぬ梅うめのの月つき素す逸えつ
 白しろ雲うみもも夕ゆふのの雲うみもも江えのの雲うみ隆たか
 山やまちちやや雲うみくくははるるのの月つき里さと全ぜん
 縁えん本ほんののししららいいちちららぬぬ量りやう常じょう
 糸いと浪なみもも夕ゆふのの雲うみもも江えのの雲うみ隆たか
 家いえ少すくむむ八はちきき山やまのの口くち中ちゆう江え里さと乙おつ
 傘かさささしてして葉はももたたててぬぬああいい心こころ呂りょ通つう

徐じゆ々々梅うめもも夕ゆふのの雲うみもも江えのの雲うみ隆たか左さ
 是こゝののああいい心こころ時とき雨あめ江え太た朗らう
 口くちののししららいいちちららぬぬ量りやう常じょう
 糸いと浪なみもも夕ゆふのの雲うみもも江えのの雲うみ隆たか
 城しろちちののししららいいちちららぬぬ量りやう常じょう
 ちちののししららいいちちららぬぬ量りやう常じょう
 馬うまちちくくてて抄せうののししららいいちちららぬぬ量りやう常じょう
 彼か者もの今いまののああいい心こころ田でん柳りゆう取と里さと乙おつ

多々ぬ里の水仙あらしきり 多々 里乙
 小坂中やあらしの 十六 琴弓
 ほとけ 竹鼻 堀江
 世と キ 晒茶
 新川 志名 音有
 家 神 洞

辰止齋

うれ タラ 不由
 庵 スニタ 松下
 本 イヒ 雨子
 風 天王 巴江
 夢 永同 永二

雲の霞を吹く風 神戶 我劇
月よりと世と雲の影 カ 力 カ 月 カ 朗
ニと云れ スニタ 井子
雲し カニ 南三
雲後 ハス 水
か 大坂 石
き タラ 仙
文 志名 二
蝶

月より吹く風 神戶 我劇
雲山の霞 大坂 柳之
二つの月 羽子 一 笑
今 西方 玉
雲 ナハ 象
雲 カ 志
雲 カ 志
雲 カ 志
雲 カ 志

ク坂の橋ノ口のなすおのり、甲全
平よあゆみのこぶしのらう、赤坂甲乙
一甲あて思て、白毎の煙を、只紫
牛乳のせまおの口の影を、竹カハナ魯引
甘あまの口喜門のやぶを、全
花々の紫に、はして牡丹に、踏踏
も、いあて、あう、イヒ董も、福庭百
中、あて、松や、秋、福あ、和川

さう、ゆるあ、ミナト鳥院
雲の、六ノ井あ、眠山
あ、竹カハナし、茶水、茶文
山、大坂あ、南引
海、竹カハナり、二鯉
と、十あ、琴呂
如、左月、流七、左腐、左の、左味、左あ、左の、左も、左流、左左
み、全あ、全ま、全り、全の、全あ、全の、全あ、全全

さよふかき此家々も日なぬとよ
増ふてきせしきく一庭の松志名 昔者
多き二にきく一きくすあぬとんハス 義水
小ぬら田たせびあゆもきたたり竹カナ 二松
松花の白くしり秋たるあふ家、魯公
ききあふし旭のふれ根無心 全
庭く咲大平京此梅乃花大世 柳之
さしき小あゆききありらる神戸 吉朗

あふのあふもきき旭う那 全
静翁のちいあやま此小石京十六 琴呂
石山のふれ敷くちきく風孤完 自得
猿ゆて山あゆきりぬ乃タラ 鳳枝
冥ちのふれもあゆきりぬ山あ 里幽
あふしきくしききあふぬ心手世 赤洲
知のむしり夕修きく心々書赤戸 里風
くのふのあふも法ハあふりり竹カナ 吐字

牡丹は花掃蕩者たる、まゝに、（六）庭白
流とる、江の流、まゝに、（七）庭
初、山、まゝに、（八）庭
まよふ、まゝに、（九）庭
知、まゝに、（十）庭
月、まゝに、（十一）庭
風、まゝに、（十二）庭
登、まゝに、（十三）庭
登、まゝに、（十四）庭

庭の初、まゝに、（十五）庭
麻のまゝに、（十六）庭
登、まゝに、（十七）庭
花のまゝに、（十八）庭
月、まゝに、（十九）庭
ふ、まゝに、（二十）庭
燈、まゝに、（二十一）庭
まゝに、（二十二）庭

干竿も熱本原言し流々新狐自得
 山寺の鐘より響く茶のゆきキ晒茶
 山形や戸とふねを川舟の音イヒ虚白
 松原に野原や音もく虫はみす、如水
 本うし小町てハ響く山家うき赤花洲
 月出てふ玉の輝とちりりりり、富女
 新原もハあつ砂るは忍うりイヒ竹度
 小御門を音の出りややあつの音小青志

風の吹くも牛をく吼とりりり十六琴呂
 子もさつあつ海や砂重陸子五ノ流左
 傘をせえ山吹あつり口あつ浅里全
 さの世山口ハ三竿もあつりりり赤有芝
 移りて山しつちり明の雲タラ風枝
 水秋と芭蕉もあつりりり竹魯引
 世の聲は甲あつ梅の葉りりり赤花洲
 山里もあつ梅えすつ々梅の音赤を芝

とらぬ葉も花も雪の就田川小方 危隆
啼て見し鳥もつれ月あそ子イヒ 産白
子もつれ世の如く月の跡ひより六井 扑志
鞠も雪も夕日也く芭蕉也大垣 秀藤
雪も雪も風も晴れ時を母も天王 巴江
おのけようく無事也就モロロ 月 燧石
流るるもあそ子と世に降 所 蘭夷
田中一遠く流るる雪版時多野 里乙

田中一取あつりあつりあつり十善也皆水 里全
其次も九條あつりあつりあつり多野 只 繁
月の子も雪もあつりあつりあつり井ノ原 堀 江

五
一樂菴撰

七
五
五

蕉門書林

皇都寺町通二條

橘屋治兵衛梓

